

目的	目 標 方 針	活 動	結 果
政治力・政策実現力の強化	目標 1. 看護職国会議員の選出・支援 1) <u>第 27 回参議院議員選挙における組織内候補予定者の周知徹底</u> 2) 看護職国会議員の支援 3) 公職選挙法の遵守	1) -1 第 27 回参議院議員選挙組織内候補予定者が高得票で当選するための知名度向上と活動状況の周知を各支部に強化する -2 都道府県別会議から抽出した課題の改善策を具体的戦略として周知する 2) -1 上記、1) -1 に関連し日本看護連盟広報媒体等を積極的に活用する -2 福岡県看護連盟機関誌（あい&あい）に看護職議員の活動報告を掲載する -3 福岡県看護連盟 HP、SNS 等インターネット LINE を活用し、看護職議員の活動を周知する -4 研修会等の講師として、看護職国会議員を招聘する 3) -1 「参議院選挙実践の手引き」改訂版の理解と周知を図るため支援する -2 「参議院選挙実践の手引き」を活用し、コンプライアンス学習で安全な活動を実施する -3 会員・非会員を問わず看護管理者を対象に正しい選挙運動への理解を深める	1) ・応援する会入会目標数 10000 名（会員数：7167 名） 親会員入会者数 4897 名、会員協力率 68%、 目標達成入会率 49% ・22 支部毎の具体的目標値を設定、入会者増に向けた目標管理を実施 ・知名度向上の GW 等の活動により、会員の 68%の協力が得られた 2) ・日本看護連盟 9 つの媒体閲覧アクセス活用数 日本看護連盟広報媒体等を積極的に活用するように PR し、福岡県看護連盟 HP 閲覧アクセス数 5692 件、前年比 22%の増加となった ・機関誌発行（年 3 回）、HP 掲載 ・看護職国会議員を招聘しての研修会を実施した（石田まさひろ参議院議員 出席者 297 名） ・石田まさひろ参議院議員来福 県南引き回し 対応病院 2 施設 非会員への周知につないだ ・引き続き SNS 等 LINE を活用し、看護職議員の活動を周知する 3) ・「参議院選挙実践の手引き」を活用したコンプライアンス対策の学習会開催(10/31、11/25) ・公職選挙法遵守で違反なし
	目標 2.看護政策の実現 1) 日本看護連盟、県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 看護教育機関との連携	1) -1 自民党厚生労働部会、厚生労働委員会等の委員や各級議員と連携を強化する -2 県選出の国会議員や県会議員の政策説明会へ参加し、情報共有をはかる -3 日本看護協会/福岡県看護協会の重点施策に向けて情報を共有する -4 若者層の看護政策への関心や、政策提言力の強化を支援するために、オンライン・ハイブリッド等 を活用する 2) -1 LINE に開設される「現場の声」入力窓口を周知徹底し、Web 調査に協力する -2 「現場の声」の調査分析から、政策提言につなぐ具体的根拠を明確にする -3 政策提言内容及び制度改革状況は、タイムリーに H P、機関誌等 で会員に周知する 3) -1 看護教育機関に「看護と政策」に関する講座開設の必要性をアピールする	1) ・自民党厚生労働部会、厚生労働委員会等の委員として職域代表で顧問が出席（4 回） 女性議員の擁立、政治資金問題に関する議題で発言 ・看護連盟、看護協会福岡県看護政策懇話会（3 回） 看護連盟、看護協会合同で情報共有、看護政策を協議し、要望書等を作成し行政・政党議員へ提出した ・青年部ブロック会議/ポリナビ等で若年層の看護政策への関心や、政策提言力を強化できた （ブロック会議：10 名、九州ポリナビ：191 名参加） 2) ・福岡県看護連盟 HP 閲覧アクセス数 5692 件、前年比 22%の増加 ・政策提言内容及び制度改革状況は HP、機関誌等で会員に周知した（年間機関誌発行部数:24000 部） 3) ・看護教育機関との連携、情報交換

政治力・政策実現力の強化	3) 看護教育機関との連携	-2 看護学生の投票行動を促す依頼をする	学校訪問を行い入会依頼、基礎研修を行った 訪問回数 4 回
	4) 新興感染症対策の政策推進	4) -1 感染対策に関する現場の課題を日本看護連盟と関係国会議員等で情報共有する -2 福岡県看護協会と協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報を共有する -3 感染対策支援については、必要に応じて多職種連携で自民党県議団に要望する	4) ・新興感染症対策の現場への還元状況として、行政からの衛生材料等に関する情報提供は一旦中止とした ・ワンヘルス・ニューレジリエンスのメルマガ等を各役員に配信し情報共有した
	目標 3. 看護を理解する国会議員の確保と支援 1) 県選出の国会議員との連携強化	1) -1 県選出国会議員の政策フォーラム、国政報告会等に参加し、連携を図る 2) -1 県看護連盟と国会議員との交流の場を持つ -2 県看護連盟が支援している国会議員に看護政策必要性の理解を求める -3 県の看護政策に理解を示す国会議員を支援する体制を強化する	1) ・職域活動実績 国政報告会参加回数 210 回・参加人数述べ 630 名 2) ・福岡県看護連盟通常総会 県選出国会議員出席者数 12 名 福岡県看護連盟通常総会出席者数 354 名
	目標 4. 地方議会、地方行政への影響力の強化 1) 地方議員との情報交換と活動支援 2) 福岡県看護問題対策議員連盟（仮称）の再構築 3) 地方議会、行政等との情報交換	1) -1 地方議員との交流の場を設け、連盟への理解を深める 2) -1 福岡県看護問題対策議員連盟（仮称）の再構築に向けて議員に働きかける 3) -1 福岡県保健医療介護部医療指導課「医師・看護職員確保対策室」が実施した福岡県における保健師免許取得に関わる意向調査の結果を踏まえ、福岡県保健師教育大学院化の要望を継続・強化する -2 地方議員の活動を支援する	1) ・福岡県看護連盟通常総会 県、市、町議会議員出席者 39 名 福岡県看護連盟通常総会出席者 354 名 ・看護職議員 野口町議による研修会を開催、終了後役員との意見交換会を行った 出席者 98 名 2) ・福岡県看護問題対策議員連盟（仮称）再構築に向けて意見交換会を行った 出席者 北九州市議 8 名、連盟役員 16 名 3) ・県議会傍聴回数（2 回） ・看護担当県会議員、県議団会長、政策審議会会長のへ意向調査の説明と今後の打合せ 出席者 連盟役員 4 名、大学教員 2 名、行政 2 名
	目標 5. 地方議員の擁立と支援 1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化	1) -1 県議、市（町）議への看護職の立候補者の発掘と人材育成の支援を行う -2 県、自民党県連が実施している若手育成プログラム等に、積極的に参加できるように HP 等の媒体を駆使し情報提供する 2) -1 看護職を応援する候補者の選挙活動を応援する （推薦状の発行、候補者の後援会名簿集め、政策講演会・決起集会、街頭演説等への協力と参加）	1) ・自民党政治塾育成プログラム 参加者 2 名 ・プログラム参加者の所属する施設管理者等への理解が得られ看護職政治家への育成支援の一助となった ・看護職地方議員の活動報告を機関誌年 3 回掲載及び、議員からの会報誌（議会だより）を共有 2) ・北九州市議会議員選挙 応援した 9 名中 8 名当選 ・那珂川市議会ひじ英治議員、3 期目当選
組織力の強化・拡大	目標 1.福岡県看護連盟の効率的な組織運営 1) 福岡県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 2) 福岡県看護連盟 22 支部と連携した効果的な運営	1) -1 内部ガバナンス（統治）及びコンプライアンス（法令遵守）に基づく組織運営を行うために新任役員研修会や新入会者研修開催を開催し、組織力の強化をはかる 2) -1 <u>PDCAプロセスに基づいた行動計画に沿って実践・評価し、課題を明確にする</u> -2 諸会議（通常総会、三役会、県役員会、総合役員会、青年部委員会、広報委員会、機関誌編集委員会）の円滑かつ効率的な運営を行う	1) ・新任役員研修 出席者 19 名 2) ・PDCAに基づいた行動計画に沿って実践・評価することで、役割分担に沿った職務を果たすことができた ・諸会議の内容を円滑に伝達することにより、効率的な会議の運営ができた

組織力の強化・拡大	目標 1.福岡県看護連盟の効率的な組織運営 3) 財政等の健全化と適正化	3) -1 費用対効果を会議費、事業費、政治活動、選挙運動等の費目別に見極め、費用を効果的に運用し活動の活性化を図る	3) ・予算に基づき執行、会計監査を各支部活動計画・報告書を基に年2回行い適正に処理されていた ・政治資金規正法に基づく政治資金収支報告書（1月～12月）を県へ提出 ・費用対効果における事業監査の指摘はなし
	目標 2. 福岡県看護連盟と福岡県看護協会との連携・協働の推進 1) 福岡県看護連盟と福岡県看護協会との連携強化	1) -1 「ブロック別合同会議」に県連盟会長と県看護協会会長とが参加し、活動内容の情報共有と選挙活動、会員確保等の協働態勢について検討する -2 福岡県看護協会総会・福岡県看護連盟総会に協会長・連盟会長が相互に参加する -3 「ブロック別看護管理者等政策セミナー」に県看護協会会長及び役員の参加を促す -4 <u>福岡県看護協会と福岡県看護連盟合同（会長・役員）で看護政策を協議、要望書等を作成し行政・政党議員へ提出する</u>	1) ・看護連盟・看護協会合同会議（熊本県） GW テーマ【会員確保に向けた職能団体としての具体的な連携について】に会長、幹事長が参加した ・九州ブロック政策セミナー 出席者 10 名 ・都道府県別会議に看護協会役員が参加した 出席者 37 名 ・政策懇話会を3回実施
	目標 3.会員の確保対策 1) 2024 年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 看護連盟入会の促進、退会者の防止 3) 若者層・学生会員の確保 4) O B 会支部、O B 会の活性化 5) 会費課金システム導入の検討	1) -1 都道府県別会議において「会員確保」について検討し、有効な対策を実行する -2 会員数 <u>8,000 人</u> を確保する -3 「各支部における会員増員の目標値と戦略」を作成し、上半期(9月)と下半期（3月）に目標達成状況を評価する -4 政策セミナー等を通して、連盟活動の理解を深め会員確保に努める -5 未加入者の多い施設の看護管理者との交流の機会を作る 2) -1 福岡県看護協会役員の連盟加入を促進する目標値 100% -2 福岡県看護協会会員の連盟加入率を 20%にする -3 国公立病院や看護系大学等の会員増に向けて、看護協会と検討し協力を得る -4 医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける -5 定年退職者、産休・育休者、中途採用者に連盟入会と継続や賛助を働きかける -6 看護大学・看護専門学校教員への入会を働きかける 3) -1 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける -2 連盟役員等が講演や講義の機会に、看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する -3 実習施設や研修施設において看護学生に働きかけ、学生会員の入会を促進する -4 青年部委員会で看護学生を対象とした基礎研修の在り方を検討する 4) -1 <u>福岡県看護連盟 OB 会の組織化を検討する</u> -2 支部が協力し合いながら地区ごとに交流会を企画する 5) -1 会員確保における効果的な会費納入方法に対する意見を収集し、課金システム検討プロジェクトに届ける	1) ・会員目標数 8000 名 2024 年度会員数 7167 名（12%減） ・各支部の会員増に向けた努力の結果3支部が増加した ・連盟会長、協会会長合同での施設訪問を実施した 訪問数 34 施設 2) ・福岡県看護協会役員連盟入会率 73%、 福岡県看護協会会員連盟入会率 17% ・福岡県看護協会役員に入会を働きかけ、2 名の新規会員が入会した ・教員への入会を働きかけ、4 名の新規会員が入会した ・連盟会長、協会会長合同での施設訪問を実施し入会を働きかけ、1 施設が新規入会した 3) ・青年部委員会で看護学生を対象とした基礎研修の在り方を検討した結果、2025 年度中に実施することが決定した ・九州ポリナビワークショップを行い九州8県より青年部が集結しテーマに沿いGWを行った 出席者 191 名 ・20～30 代の入会員数 3294 名 ・学生会員数 1 名 4) ・今年度は福岡県看護連盟 OB 会の組織化を検討するに至らず、地区毎の交流会は企画できなかった 5) ・施設管理者等に聞き取り調査をし、賛否両論の意見を届けた
	目標 4.社会変化に即応するためのD X の推進 1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備える <u>デジタルインフラ基盤の推進</u>	1) -1 日本看護連盟と福岡県看護連盟のデータ共有に向けて、クラウドの活用に協力する	1) ・会議資料等クラウドを活用しデータ共有を推進した

組 織 力 の 強 化 ・ 拡 大	目標 4.社会変化に即応するためのD Xの推進 2) 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用 3) SNS 及びデジタルを活用した効率的な活動の推進	2) -1 ZOOMプロライセンス契約を継続し、支部での活用を推進する -2 ハイブリッド形式の研修会や常設委員会のオンライン化を促進する 3) -1 <u>第 27 回参議院議員選挙に向けて、広報委員会を中心に青年部委員を交えて SNS アカウ ントを運用した戦略を推進する</u>	2) ・九州ポリナビワークショップをハイブリッド形式で実施したが、一部連携ミスによる通信障害が発生した 3) ・青年部 X、青年部 Facebook の運用を推進した
	目標 5. 看護連盟の活動の強化及び周知徹底 1) 福岡県看護連盟・各支部との情報共有化 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	1) -1 日本看護連盟会長会及び中央役員会、各種委員会、日本看護協会政策情報等をタイムリーに各支部役員へ発信する -2 都道府県別会議に参加し、県の特性を生かした会員確保を検討し活動の強化につなぐ 2) -1 未入会者及び連盟会員に対し連盟活動の理解を深め実践につなぐために、対象別教育研修の標準化を検討する -2 オンラインツールの活用を推進し、効果的・効率的な会議・研修を企画する -3 基礎研修資料福岡版を新入会員・未入会者層の研修や集会で活用する	1) ・日本看護連盟会長会 3 回、中央役員会 10 回 役員会で報告、情報共有をした ・都道府県別会議 出席者 37 名（看護協会役員 3 名、青年部 1 名含む） 2) ・基礎研修資料福岡版（青年部作成）を活用、連盟活動の理解を深め実践に繋いだ 基礎研修 43 回
	目標 6. 若手会員の育成 1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部活動基盤づくりの促進	1) -1 全国青年部代表者ミーティングに参加を奨める -2 九州ブロック協議会開催の会議・研修会に参加する -3 自民党が実施する青年部研修会等に積極的な参加を奨励する 2) -1 第 12 回ポリナビワークショップ in 福岡を開催し、若手会員の入会を促進する -2 青年部支部移行向けの支援と理解促進を推進する -3 各種研修会や看護学校での研修等の講師及び青年部の人材育成を支援する -4 2024 年度の学生会員目標数を 23 人とし、学生会員の入会促進を支援する -5 情報共有ツールの活用を促進し、ブロック内 8 県の青年部活動を共有する	1) ・全国青年部代表者ミーティング 出席者 1 名 ・九州ブロック協議会会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会 出席者 12 名 ・自民党 FUKUOKA 政治塾 参加者 2 名 ・青年部研修会に、看護職国会議員を招聘した 出席者 97 名 2) ・九州ポリナビワークショップ 出席者 191 名 ・2025 年度内に青年部支部設置予定
	目標 7. 広報活動の強化充実 1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 2) インターネットを活用した有効な情報発信	1) -1 機関誌を 3 回/年発行する -2 機関誌編集委員会において、編集活動を促進させ円滑化を図る -3 広報委員会を 6 回/年開催し、活動の方針、具体策を検討し、広報活動を推進する -4 福岡県看護連盟 HP の更新頻度を増し、連盟活動及び政策提言活動等の情報を迅速に発信する -5 HP「私のイチオシ」への投稿を推進する 2) -1 諸研修会、諸集会で看護職国会議員のビデオメッセージを上映する -2 国政報告会の開催、Web アンフィニ等活用、機関誌への掲載等を通し、国政における看護職議員の活動を報告する -3 各級の議会見学を行い、政策決定過程の学びから政治参画意識を高める	1) ・機関誌を 3 回/年発行した ・ホームページ「私のイチオシ」「今さら聞けない政治のしくみのクイズ」の投稿を推進した ・HP アクセス数 5692 件、前年比 22%の増加 2) ・研修会等で看護職国会議員のビデオメッセージを上映した ・研修会の開催、機関誌への掲載等を通し国政に於ける看護職議員の活動を速やかに報告できた ・県議会見学 2 回
	目標 8. 支部組織の活動の強化・促進 1) 支部組織の強化及び支部役員・リーダーの強化	1) -1 都道府県別会議に参加し、第 27 回参議院選挙に向けての活動意識を強化する -2 支部運営マニュアルの整備を行い、支部役員の役割を円滑に支援する	1) ・都道府県別会議 出席者 37 名 ・新任役員研修会 出席者 19 名

組織力の強化・拡大	目標 8. 支部組織の活動の強化・促進 1) 支部組織の強化及び支部役員・リーダーの強化 2) 各支部会員のモチベーション強化	-3 総合役員会を隔月(6 回/年)に行う -4 地区別支部長会（1 回/年）を開催する -5 リーダー育成の研修会を行う（1 回／年） 2) -1 県・支部において各級議員によるミニ研修会等を行い、議員との交流を深める -2 <u>地方議員による看護体験を企画・実施する</u>	・総合役員会 6 回/年 ・地区別支部長会（1 回/年）実施できなかった ・日本看護連盟顧問による研修会「看護と政治」を開催 出席者 133 名 ・日本看護連盟幹事長による研修会「看護の未来と展望」を開催（出席者 123 名） 2) ・看護職議員 野口町議による研修会開催 出席者 98 名 ・各級議員によるミニ研修会等は、身近な看護課題と政治を結びつける良い機会となり、モチベーション強化につながった ・議員による看護体験は施設側の事情で実施できなかった
	目標 9.ブロック協議会の活動の強化・促進 1) ブロック協議会の活性化	1) -1 ブロック協議会へ参加し、活発な情報交換と共有を図る	1) ・九州ブロック会長会 6 回、政策セミナー出席者 10 名 会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会 出席者 12 名
	目標 10. 関係団体・関係組織との連携・強化 1) 福岡県看護協会以外の関係団体との交流促進	1) -1 医療関係団体との交流の機会をつくる -2 支援団体・支援企業との交流の機会をつくる -3 支援団体・支援企業所属の関係者に賛助会員への入会を勧める -4 福岡県鍼灸マッサージ師連盟との提携を更新し、連盟会員の福利厚生の一助とする	1) ・医師会、薬剤師会等、医療団体との交流で診療報酬改定の意見交換ができた ・鍼灸マッサージ連盟との提携更新、連盟会員の福利厚生の一助とした ・NPO セーバー風ジャパンへの協力（7/25 小倉球場救護班 2 名） ・賛助会員 1 社
会員の福祉の充実	1.災害への対応 1) 災害発生地への支援	1) -1 災害時の情報発信をする -2 情報収集をタイムリーに行い、本部に速やかに伝え、被災地の現場の声を国会議員に届け 支援協力を要請する -3 災害見舞い支援金等の申請手続きを迅速に行う	1) ・看護職議員と県南災害復興状況の視察を行い、施設長から説明を受け今後の課題等、情報共有を行った
	2.福利厚生への対応 1) 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応	1) -1 福岡県看護連盟会長等の表彰を行う -2 日本看護連盟名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う -3 物故者への対応を行う -4 慶弔等への対応を行う	1) ・福岡県看護連盟会長表彰受賞者 7 名 ・物故者 1 名
	3.諸問題への対応 1) 福岡県看護連盟会員の安全の保証	1) -1 コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報交換を行う -2 諸般の疑問や問題発生の際は、速やかに日本看護連盟へ情報提供し、専門家や顧問弁護士と相談し、速やかに解決する	1) ・政治活動に関する疑問等は、速やかに本部に相談して自民党コンプライアンス室に確認安全活動に繋いだ ・福岡県選挙管理委員会に確認して公職選挙法違反のない活動に繋いだ ・県看護協会の防火対策管理委員会に出席し日常の防災対策を点検した 3 月は消防避難訓練に参加した